

三重県畜産研究所

Mie Prefecture Livestock Research Institute

令和5年度要覧



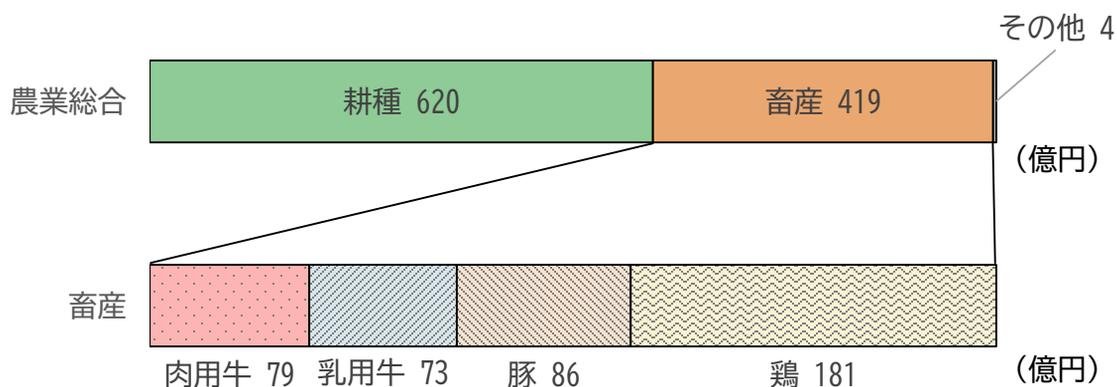


三重県の畜産業

三重県の畜産業は、各地域の豊かな自然・伝統を活かし発展してきました。三重を代表する畜産物には、松阪地域で肥育され世界に名だたる肉の芸術品として称されている『松阪牛』や、伊賀地域の気候・水に恵まれた環境で肥育されている『伊賀牛』、三重県畜産研究所が開発し東紀州地域で飼養されている『熊野地鶏』などがあり、これらは三重ブランドにも登録されています。

令和2年の三重県における畜産業産出額は、約419億円であり、農業総合産出額約1043億円の約40%を占めております。畜種別産出額では、鶏（181億円）が最も多く、次いで豚（86億円）、肉用牛（79億円）、乳用牛（73億円）の順となっています。

畜産業産出額



農林水産省統計部「生産農業所得統計」による



畜産研究所の概要

畜産研究所は、三重県における畜産分野の研究を担い、「産業としての畜産を盛んにする」「循環型社会の実現に貢献する」「県民の健康・安全・安心に貢献する」事を基本目標として、本県の畜産業発展と、生産者の経営安定および県民の健康・安心に寄与するための研究に取り組んでいます。



過去の研究成果はこちらから

<https://www.pref.mie.lg.jp/tikuken/hp/75509025137.htm>



沿革

年 月	出 来 事
大正9年4月	「三重県農業試験場」（安濃郡神戸村、現津市）内に「三重県種畜場」を設置し事業を開始。翌年1月隣接地約4.6haを求めて移転。
昭和5年2月	一志郡高茶屋村（現津市）に土地6haを求めて移転。
昭和18年4月	現在の松阪市嬉野町に「三重県種畜場」及び「三重県役馬利用指導者養成所」が移転。「三重県種鶏場」が「三重県種畜場」に併合。
昭和37年4月	「三重県畜産試験場」と改称。
昭和45年4月	「三重県農業技術センター畜産部」として改組。 （昭和57年8月管理棟・研修棟建替え完成）
平成10年4月	「三重県科学技術振興センター」に編入し、 「三重県科学技術振興センター農業技術センター畜産部」へ改組。
平成13年4月	公設試験研究機関の再編整備により「三重県科学技術振興センター畜産研究部」へ改組。大家畜・中小家畜・家畜改良繁殖グループ、総務企画担当の3グループ1担当となる。
平成16年4月	部内グループ再編により、大家畜・中小家畜グループ、家畜改良繁殖担当、企画調整担当の2グループ2担当となる。洪水調整池が完成する。
平成18年4月	組織改編により、大家畜研究課、中小家畜研究課、家畜改良繁殖担当、企画調整担当の2研究課2担当となる。
10月	畜舎整備により、大家畜舎、収納舎、堆肥舎、家畜污水处理施設が完成。
平成20年4月	組織改編により、現在の「三重県畜産研究所」と改称される。
11月	畜舎整備により、中小家畜舎（豚舎・鶏舎・管理・作業棟）が完成する。
平成22年3月	畜舎整備により、大農機具庫、ふれあいエリアが完成する。
平成23年4月	組織改編により、大家畜研究課、中小家畜研究課、家畜改良繁殖研究課、総務担当（農研兼務）の3研究課1担当の現在の体制となる。
令和2年6月	畜産研究所の飼養衛生管理向上のための施設整備完了。



組織案内

畜産研究所

参事兼所長

研究管理監

(中小家畜研究課長兼務)

畜研駐在 事務吏員 1名
(農業研究所兼務)

大家畜研究課

研究員 5名
技術専門員 11名

中小家畜研究課

研究員 4名
技術専門員 7名

家畜改良繁殖研究課

研究員 2名



施設規模

用地面積

建物敷地	8.0ha
圃場	16.0ha
放牧地 他	9.4ha
計	33.4ha

建物

事務所等	1,698m ²
畜舎等	14,178m ²
倉庫等	801m ²
他	71m ²
計	16,748m ²

家畜飼養頭数

肉用牛	52頭
繁殖和牛	20頭
乳用牛	40頭
豚	90頭
鶏	1,982羽
めん山羊	20頭

(令和4年12月1日現在)



施設全景



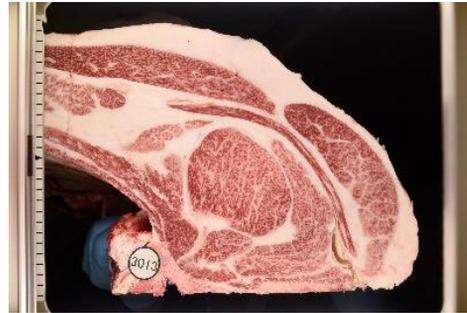
事業紹介

大家畜研究課

肉用牛については、肥育成績向上のための飼養試験、肉質の調査・分析を行っています。乳用牛については、産乳および繁殖成績向上のための飼養試験、IoT技術を活用した乳牛の飼養管理技術の検討、発酵TMRの調製等を行っています。



黒毛和種未經産雌牛の肥育試験



画像解析による肉質調査



乾乳期における飼養管理試験



乳牛の糞粒度分布を指標とした健康管理



県内飼料作物優良品種の選定



ラップサイレージの生産

中小家畜 研究課

豚、鶏の研究を行っています。豚では、種豚の繁殖管理や豚の行動試験、栄養試験等を行っています。鶏では、採卵鶏の産卵成績や肉用鶏の生産性の向上を目指した飼養管理の検討、また熊野地鶏の種鶏の維持管理を行っています。



養豚試験飼料の配合作業



鶏卵の卵質調査



種鶏の世代更新および維持
管理作業



試験豚の肉質調査



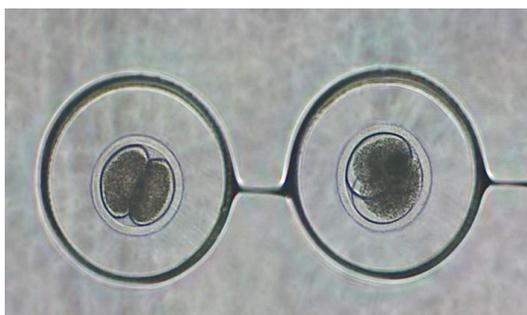
熊野地鶏種鶏の飼養管
理技術の検討



家畜伝染病侵入を防ぐための
防疫作業（消石灰の散布）

家畜改良 繁殖研究課

採卵、経膈採卵等の技術を用いたウシ受精卵の生産および移植について試験を行っています。



受胎性の高い受精卵の増産技術の開発



ウシ受精卵の凍結保存技術の開発



所在地・連絡先



〒515-2324 松阪市嬉野町1444-1

TEL:0598-42-2029 FAX:0598-42-2043

E-mail:tikuken@pref.mie.lg.jp

Webサイト

<https://www.pref.mie.lg.jp/tikuken/hp/index.htm>



アクセス（三重県畜産研究所へ）

【電車】

近鉄伊勢中川駅から徒歩約25分（約2km）
J R 権現前駅から徒歩約10分（約1km）

【車】

伊勢自動車道一志嬉野ICから約4km
国道23号線小舟江町北交差点から約7km



農林水産部 各研究所紹介



農業研究所

<https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/index.htm>



林業研究所

<https://www.pref.mie.lg.jp/ringi/hp/index.htm>



水産研究所

<https://www.pref.mie.lg.jp/suigi/hp/index.shtm>

